

とねまち 議会だより



あなたと議会を結ぶ広報紙

12月定例会

No. 145

2019.2.1

トネマチ冬まつり

議案第55号 利根町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例……【原案可決】

利根緑地運動公園内のテニスコートをバーベキュー施設に変更し、町民憩いの空間やにぎわいを創出するため改正するものです。

議案第56号 平成30年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の専決処分について……………【承認】

診療施設勘定の予算額に歳入歳出それぞれ62万7千円を追加し、総額を1億2,781万2千円としたものです。

議案第57号 平成30年度利根町一般会計補正予算(第3号)……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1,045万円を減額し、総額を56億5,000万6千円とするものです。

議案第58号 平成30年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)……………【原案可決】

診療施設勘定による債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額を定めるものです。

議案第59号 平成30年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号)……………【原案可決】

債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額を定めるものです。

議案第60号 平成30年度利根町介護保険特別会計補正予算(第2号)……………【原案可決】

債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額を定めるものです。

議案第61号 平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ458万2千円を追加し、総額を4億1,284万9千円とするものです。

議案第62号 龍ヶ崎市の公の施設を本町住民の使用に供させることに関する議決事件の変更について……………【原案可決】

「公の施設相互利用に関する協定書」における相互利用できる施設のうち、龍ヶ崎市の「まいん」が閉館したため協定の変更をするものです。

議案第63号 市町の境界変更に関する議決事件の変更について……………【原案可決】

平成30年第2回議会定例会で議決を経た「市町の境界変更について」の議案において、地番のない水路の表記方法に変更が生じたため境界変更時期を平成31年7月1日とするものです。

議案第64号 市町の境界変更に伴う財産処分に係る協議に関する議決事件の変更について……………【原案可決】

平成30年第2回議会定例会で議決を経た「市町の境界変更に伴う財産処分に係る協議について」の議案において、地番のない水路の表記方法を変更するものです。

議案第65号 利根町教育委員会委員の任命について……………【同意】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を得るものです。

議案第66号 利根町職員定数条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

教育の一層の推進・充実を図るため指導主事を二人体制にすることで、これまでの取り組みの強化を図るとともに新学習指導要領の円滑な実施に向けた取り組みを行うため、教育委員会関係職員の定数を見直しするものです。

人事案件

▼利根町教育委員会委員の任命について

氏名 ながおか じゅんこ
長岡 純子 氏 【任期：平成31年1月1日から平成34年12月31日】

町政のここが聞きたい

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 台風24号の風水害被害状況について

答 家屋の損壊や停電に侵されました

坂 本 啓 次 議 員

問 台風24号の町内の被害等は。

答 台風通過翌日の早朝より町内見回りを
行い、家屋損壊9件と道路への倒木9
件あり、その他で町内約5,900軒の停電も
確認しております。前日の14時より避難
指示を出し、避難を呼びかけました。

問 取手東線の道路整備に伴い、ニュータ
ウンと中田切の冠水問題は、遊水池等
を設け早急に解決出来ないか。また、その
遊水池にイルミネーションを施し町民憩い
の場にしてはどうか。

答 新利根川の改修等と基盤整備に伴い冠
水問題解決の為にも早急に対処してい
きたい。また、道路整備等も同時に県への
要望を行っていきます。

問 過疎地域脱却に向け具体的施策は何か

答 人口減少対策に特化した事業を厳選する

五十嵐 辰 雄 議 員

問 急激に少子高齢化が進み、人口減少が
未曾有の速さで進行し先例のない事態
に対処するには、前例主義にとらわれず新
しい課題にチャレンジする勇気と気力が求
められています。町長は創造性を自由に発
揮し、成果志向の行政運営が必要です。

予算獲得や消化だけでなく、その事業が
大きな成果を生むことが出来るかです。29
年4月に過疎地域の指定を受け、過疎地域
脱却に向け具体的施策を問う。

答 過疎対策として人口減少対策に特化し
た利根町まち・ひと・しごと創生総合
戦略や利根町過疎地域自立促進計画の各施
策の事業を着実に実行し、過疎地域脱却に
取り組んでいます。次の第5次総合振興計
画が年度内に策定になるので、施策や事業
が過疎対策に大きな効果を上げるよう着実
に実行する方針です。

問 若草大橋の千葉県側延伸について、印
西市と協議会等を設ける考えはあるか。
県外の方も栄橋を通り阿見アウトレットや
牛久大仏へ行く機会が多く栄橋の渋滞の早
急な解決が望まれるが。

答 今後は若草大橋隣接関係自治体と連絡
を取りながら延伸が実現するよう積極
的に働きかけていきます。

問 旧東文間小学校の活用について、今後
の課題や問題点は。

答 平成22年に利根町利活用推進委員会
を立ち上げ平成23年に学校跡地計画
書が策定され、ウエルネス大学やソーラー
等誘致されました。旧東文間小学校は用途
制限があり、建物も老朽化が進んでいる状
況です。そこで当該施設を災害時の避難場
所に指定し、東文間地域の人たちの安全を
確保したいと考えています。

問 道路交通網のネットワーク構築の年次
計画は。町道103号線早尾台からもえ
ぎ野台までの延伸、取手東線バイパス道路、
町道101号線（産業道路）の拡幅が喫緊の
課題です。産業道路は利根西部地区基盤整
備事業用地に全線接続しているので創設換
地で道路拡幅は可能です。以上3事業の年
次計画を問う。

答 町道103号線は、過疎代行事業として
茨城県が主体となり10月30日地権者
説明会を開催、設計図面が出来る翌年3月
頃地元説明会の開催予定です。

取手東線バイパス道路は12月20日地権
者説明会を開催し、排水対策に考慮した計
画と圃場整備事業と連携した事業に取り組
んでいます。

産業道路は、利根西部地区基盤整備事業
(242ha)の創設換地による拡幅用地の取得
は、前向きに検討しています。

問 子育て支援の見直しについて

答 見直しについては今後考えている

若 泉 昌 寿 議員

問 現在利根町の子育て支援として平成22年度から第2子が誕生したら15年間にわたり年33,000円、第3子が誕生すると年66,000円を支給しているが、今後のことを考え、今の制度を廃止し第1子から支援出来るよう見直しする考えはあるか。

答 子育て支援、第2子、第3子の支援については見直しを考えるべきと思っている。この支援が始まった時は全体の出生数70名位であった。現在では40名足らずになっている。2子50万円、3子100万円の支援に対しての支援は改めて見直しを検討する考え。

問 利根川堤防に植栽されている桜が台風などにより倒れて堤防が崩れないか気になる。町の考えを伺う。

答 桜づつみを利根川堤防につくるに当たり、当時国土交通省が堤防の補強工事を進めていて町が国に協力を依頼し河川堤防強化の工事とあわせて桜を植栽できるよう堤防を約10m拡幅し、植栽部分との間に桜の根が侵入するのを防ぐ縁切りシートを敷いてあるので問題はない。

問 町内には産業廃棄物の不法投棄が数多くあると思うが町の対応を伺う。

答 町として持ち込まれないよう町公式ホームページ、「広報とね」により不法投棄防止の啓発をし、また、県職員と合同監視を行っている。不法投棄の廃棄物は50%が個人と思われる。産業廃棄物に関しては捨てた業者に対し処分してくれるようお願いする。今後も不法投棄されないよう継続していく。

問 31年度予算編成の基本的な考えについて

答 質の高い行政サービスが重要である

大 越 勇 一 議員

問 平成31年度の予算編成中であると思いますが、主な重点事業は何か伺います。

答 主な重点事業としては、健全な財政運営を堅持しつつ、次世代に引き継ぐ新たな利根町をつくるため、第5次利根町総合振興計画を策定中であり、町の魅力向上と持続的な発展が可能となるよう、地域特性や資源を最大限に活かすとともに、総合振興計画に掲げる構想が効果的なものとなるよう対応する。

また総合振興計画と併せて、人口減少対策として、利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる目標の達成に向け、全庁挙げて各種施策の着実な推進を図る。

重点施策として、子育て支援から子どもの学力向上と豊かな心を育む教育環境の充実、子どもから妊婦、お年寄りまでいつまでも健康で元気に暮らし続けられるよう、

健康増進や介護予防の推進、安心できる医療・福祉の提供体制の構築、シティプロモーション事業として若者の移住・定住につながる町の魅力発信と支援、農業の生産・経営基盤の強化、町内商工業者の活性化、地域公共交通手段の確保、地域コミュニティの活性化、地域の防災力の向上などを中心に取り組んでいく。

問 現在策定中の総合振興計画の進捗状況について伺います。

答 平成29年度には、アンケートによる住民意識調査、また住民及び中学生を対象としたワークショップを開催し、幅広く町民の皆様から意見を伺い基本構想の素案作りに着手した。30年度は、基本構想及び基本計画の素案が確定したので、パブリックコメントを実施し、審議会の答申を受け、利根町議会定例会に議案を提出する。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 利根町立小中学校適正配置について伺う

答 今年度中に基本方針の素案を作成する **花 嶋 美清雄 議員**

問 小中学校の適正規模・適正配置に関する計画策定に係る基本的な方針及び具体的な方策の調査検討について伺う。

答 小中学校適正配置等調査検討委員会の答申において、各学年2学級以上が適正規模であり、複式学級となる可能性が高い平成36年度の前をめどに小学校3校を統合・大規模改修が完了し、財政負担の少ない布川小学校を活用し小中一貫校とすることが望ましい等の内容を踏まえ、今年度中に基本方針の素案を作成する。その後、パブリックコメントを経て基本方針及び実施計画を策定する。保護者・地域住民・学校関係者の理解と協力を得ながら適正規模・配置の実現に向け努めていく。

問 中学校に係る運動部活の活動方針について伺う。学校教育の一環としての運動部の適正な運営、また体制整備はどのよ

うにしているか。

答 県教育委員会及び利根町教育委員会が策定した、中学校に係る運動部活動の運営・活動方針に沿って利根中学校で運動部活動方針を策定し、部活動の適切な運営に努めている。校長は、生徒及び教員数、部活動指導員等の配置状況を踏まえ、生徒の安全確保、指導内容の充実、教師の長時間勤務の解消等、運動部活動顧問の指導に係る業務の適正化を図り、円滑に運動部活動が実施できるよう調整することとされている。顧問が作成する年間、毎月の活動計画及び活動実績の校長への提出、確認により活動状況を把握し、生徒が安全にスポーツ活動を行うと共に生徒や顧問の負担が過度とならないよう休養日を設定する等適切な運営及び体制の整備を図っている。

問 行政評価を実施したことがあるか

答 試行的に実施した経緯がある

新 井 邦 弘 議員

問 事業を継続するか、廃止・休止するかを決定するための行政評価について質問する。行政評価制度とは、分かりやすく透明性の高い行政運営を実現し、行政経営の課題を解決していく道具で、まちづくりの課題や実際の仕事の結果を振り返り、次の企画と実施に反映させ、より高次の結果を追求していく総合的なマネジメントの仕組みを行政評価制度といいます。行政には事業が計画され着手されると、それが無用無駄と分かっているにもかかわらずあります。行政改革を進めるとともに、行政の透明性を高め、住民への説明責任を果たすために、また、事務事業を常に見直しする勇気が、行政改革を進めるために必要なことだと思うが、町は行政評価を実施したことがあるか伺う。

問 まちづくりは行政が単体でできるものではないと思う。町民全ての人々が、互いの立場や垣根を越えて、ともにまちづくりを進めることが必要。このため、事務事業評価や施策評価を通じて住民の皆さんとの情報共有を促進し、計画策定や予算、広報公聴活動へとつなげていくことが制度の大きな目的となる。政策体系に沿った施策や事務事業の目的や対象、意図を明確にすることを通じ、PDCA、Pはプラン、Dは実施、Cは評価、Aはアクション、この経営サイクルを機能させ、効果、そして効率的な行政評価を目指すことに、町長はどのようにお考えか伺う。

答 第5次総合振興計画を策定し、基本計画の進行管理に合わせて、事業評価の制度を確立していきたいと考える。

答 平成20年度から平成23年度までの4年間、試行的に実施した経緯がある。

問 「教育に特化したまちづくり」施策は

答 学社融合を入れてやっていきたい

石山 肖子 議員

問 小中学校での授業や活動における学社融合プログラムについての現状を伺う。

答 学校、地域、家庭が連携協力し学校教育と社会教育が推進するいわゆる学社融合では、学習ボランティアによる学習支援や防災学習に取り組んでいる。各小学校では、本の読み聞かせ、国語科での俳句作り、田植え・稲刈り体験、特に文間小学校では地固め唄の指導、防災訓練を実施した。中学校では職場体験や部活動での活動支援など、地域の方々に協力いただいている。

問 スポーツ庁の運動部活動に関するガイドラインに挙げられている地域との連携についての考えを伺う。



答 運動部活動の指導については専門的知識を持っている外部講師を招くことにより非常に助かっている。学校と地域が協力し合って子どもたちのより良い学校活動を推進したい。登下校の見守り隊なども教職員の負担軽減になっている。

問 AI社会を生き抜くための子どもたちの生きる力の醸成の進め方は。

答 利根町教育大綱の基本理念のグランドデザイン「豊かなところと創造性を教育を目指して」に載せている。

問 町長の「教育に特化したまちづくり」の手法に学社融合は入っているのか。

答 入っている。コーディネーター(調整役)を見つけ、色々な方に入っていただいてやっていきたい。

問 ルールも対象者も町で決められるのか

答 茨城県内限定ということで再確認した

新井 滄吉 議員

問 東松山市で毎年開催されるスリーデーマーチ20キロコースに参加してきました。あそこの大会は、午前7時半から8時半にスタートして、到着地点に夕方5時迄に着けばOKということで、かなり自由に歩けました。利根町は必死になって人を呼び込む必要があると思います。水戸のウォーキング大会本部に問い合わせをしました。議員として議会で質問するのでということで、かなりしつこく聞きました。質問相手もちゃんと調べて答えてくれました。それによれば、ウォーキング大会にルールはない。ルールも対象者も利根町が決めれば良いということです。利根町には拓本クラブがあり、布川地区、文地区、東文間地区、文間地区、どこにどういう碑があるのかを、自分達が写真を撮って本まで作ったのです。芦原修二先生の指導でこういう事をやっている。こういう人達をうまく活用して歓迎

体制をつくったほうがいいと思います。一茶とか俳句に関係する人は、またグループで本を出しているのです。生涯学習センターで去年に催し物があつたとき、東京から来るのです。タクシーで布佐駅から乗りつけて来るのです。それくらい関心があるのです。利根町は外から惹きつける力があるのです。赤松宗旦、柳田國男、そういうところを使って引寄せてウォーキング大会の参加者を増やす。私は首都圏に対象を増やせば増えると思います。負担は変わらないと思います。今の状態だと、茨城県に参加者を限って参加者は増えると思いますか。

答 県の国体・障害スポーツ大会のほうに確認したが、茨城県内限定という形で、それ以上は広げられないということで再確認しました。

一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 町道103号線事業に町負担はないのか

答 32年度までに必要な事業は県が行う

石井 公一郎 議員

問 町道103号線、ランドロームから早尾天神様の工事は県の過疎代行事業なので町は一切費用の負担はないのか。

答 町道103号線に関しては、全て県の方で行う。

問 過疎対債の3年の時限立法が切れた場合はどうか。

答 県が町に代わって、生活関連市町村道の整備として実施する過疎代行なので、施工及び費用負担はない。

問 もえぎ野団地に都市計画税の課税はない。103号線が早尾台団地と接続されたら一体化とみなし課税する考えは。

答 市街化区域拡大の想定がない、難しい。

問 町長は、ふるさと納税の寄附を600万円確保する努力をすと言った。29年度のふるさと納税は約173万円、寄附金の控除額は30年度約486万円、差引313万円町から出ている。他の自治体に寄附している人が多い。対応策は。

答 寄附をしていただいた方への返礼品の拡充、町外のイベント時にパンフレットの配布、職員の課を超えた若い職員のプロジェクトチームを作りやっていく。

問 旧利根中第二グラウンドのイチョウの木、全部で9本根元から切られた。ウエルネス大学との契約で町に関係なく伐採していいのか。以前玄関前の桜も伐採。

答 今回の伐採は、町に関係なく行われた。大学側に強く抗議をした。今後は町の承認を得てから行うよう指導した。

議会活動

議員活動

平成30年度 県南町村議会議員大会

報告：若泉 昌寿 議員

平成30年11月6日(火)美浦村中央公民館において県南町村議会議員大会が開催されました。

大会開催にあたり、議会人として地方創生の実現を目指し、一致結束し果敢に行動する旨の大会宣言を採択しました。

また、美浦村出身である阿井英二郎氏による講演を聴講しました。

演題：「組織のチーム力を高める」
～セルフリーダーシップ～

講師：人材育成アドバイザー

元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチ
美浦村ふるさと大使
阿井 英二郎 氏



利根町議会議員行政視察研修

報告：石山 肖子 議員

平成30年11月13日（火）福島県東白川郡鮫川村（さめがわむら）行政視察を行いました。

<内容>

1. 旧西野小学校の校舎を活用した幼保一体化施設（現：さめがわこどもセンター）の整備

- (1) 廃校活用事業として地域再生計画「里山の食と農、自然を活かす地域再生計画」を提出された際のアイデア構築手法
- (2) 子育て支援センターと幼稚園・保育所を合築したことによる子育て支援への寄与、保護者への情報発信の方法、さめがわこどもセンターへの送迎手段

2. 旧西山小学校の校舎を活用した高齢者福祉施設（特別養護老人ホームさめがわ）の設立

- (1) 廃校活用事業として2回目の地域再生計画「まめで達人な村～地域いきいき再生プロジェクト」提案書類作成の仕方
- (2) 介護保険施設待機者の現状、事業展開による雇用の創出、施設地域住民との連携・交流



委員会活動

厚生文教常任委員会

報告：花嶋 美清雄 委員長

平成30年10月12日（金）千葉県安房郡鋸南町「道の駅 保田小学校」視察を行いました。

廃校跡地利活用の先進事例として、貴重なお話を伺うことができました。今後の廃校問題の調査及び検討の参考にさせていただきます。



利根町議会日誌（平成30年10・11・12月）

活 動 内 容	
10 月	
3	平成30年度利根町小学校陸上記録会
4	地方行政等視察研修会（県南町村会）（～6日）
7	第47回利根町民運動会
10	平成30年度町村議会広報研修会
12	厚生文教常任委員会視察（道の駅保田小学校）
14	第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南南部地区大会
15	第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）開会式
17	議会広報編集委員会
〃	全員協議会
〃	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
21	平成30年度取手地区地域安全運動推進大会
22	第32回国保カップゲートボール大会
〃	県南町村議会議長会
25	平成30年度町村議長行政視察（町村議会議長会）（～26日）
26	平成30年第2回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会
30	茨城県南水道企業団議員及び正副企業長視察研修（～31日）
11 月	
3	第34回利根町文化祭
5	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会

活 動 内 容	
11 月	
5	平成30年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
6	平成30年度県南町村議会議員大会（美浦村）
7	平成30年度第10回利根町老人クラブ連合会演芸大会
8	平成30年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会
〃	平成30年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
12	平成30年度国民健康保険運営協議会委員研修会
13	利根町議会議員行政視察研修会（～14日）
16	第3回利根町自治基本条例検討委員会
21	第62回町村議会議長全国大会
22	平成30年度女性活躍推進トップセミナー
27	平成30年度利根町建設業協会通常総会・懇親会
12 月	
11	平成30年第4回議会定例会（～19日）
12	厚生文教常任委員会委員懇談会（利根町障害者団体連絡会）
14	全員協議会
19	町民有志との懇談会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回の12月定例議会の傍聴者は延べ63名でした。

次回の定例議会は3月1日（金）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町公式ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

発行責任者／利根町議会議長 船川 京子

編集担当／若泉 昌寿・高橋 一男